地域おこし協力隊　活動報告

黒保根町拠点の地域おこし協力隊員が毎月初日に発刊しています。
現在は、細谷隊員と各元協力隊員が記事を作成しています。
QRコードから、過去の活動報告をご覧いただけます。
※または「地域おこし協力隊 黒保根 ニュースレター」で検索

News Letter

Vol.83 Autumn 2026.11月

細谷隊員　活動報告

10月は、アスパラガスの防除作業や、今後の栽培に向けた圃場の準備など、農業に関する活動に取り組みました。また、農業基礎講座にも参加し、農業に必要な基礎知識や栽培について学ぶ機会となりました。実際の圃場での作業と講座での学びを結びつけながら、今後の栽培管理に活かしていきたいと思います。

地域活動では、「ふれあいフェスティバル」に向けた試作を行いました。地域の食材を活かし、来場者の皆さんに楽しんでいただけるよう、料理の味や仕上がりを確認しながら準備を進めました。地域の食材や特産品の魅力を知ってもらう機会にもなるため、イベント当日に向けて工夫を重ねました。

これからも、農業の知識や技術を身につけながら、地域の方々との交流やイベントへの参加を通して、黒保根の魅力を発信できるよう取り組んでいきたいと思います。





OB 小島　活動報告

爽やかな秋晴れの日が増えてきました。皆様、いかがお過ごしでしょうか。１０月までに行った活動について小島が報告させていただきます。

今年も昨年と同様に9月から10月にかけて、年内最後となる晩秋蚕の飼育を行いました。養蚕に関わるようになってから約5年、ようやく自分なりの飼育方法が確立してきました。一箱で約3万頭(昔の単位で言う約15g程度)、まだまだ”オモチャ”みたいな量ですがこれから徐々に飼育数を増やしていきたいと思っています。ただ、同時に課題も見つかりました。それは桑園の管理です。今年は春と秋、2度の飼育を行いましたがどちらも桑が足りなくなるという事態に陥りました。肥料が足りなかったのか、草負けか、さらに今年は獣害被害にも遭ってしまい…。以前言われた「養蚕は畜産と農業」という言葉を痛感しています。桑が伸びなかったのは気候のせい、にしたい所ではありますが、今年の冬は防除を含めて桑園の管理もしっかりできるように、桑にも愛情を注げるように頑張りたいと思います。

イノシシが入り込んだ形跡





鹿の食害に遭った桑

地域おこし協力隊とは：都市地域から過疎地域等の条件不利地域に住民票を移動し、地域協力活動や起業・定住に向けた活動を行いながら、その地域への定住・定着を図る取組。（総務省HPより）

発行/桐生市地域おこし協力隊
担当　細谷